

みなとつるが山車会館  
個別施設計画

平成30年5月

敦賀市

## 【目次】

### 第1章 背景・目的

- 1-1 背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-2 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-3 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-4 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-5 対象施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

### 第2章 みなとつるが山車会館としてのあり方

- 2-1 文化財の保護と活用の推進・・・・・・・・・・ 2
- 2-2 市民文化の活動拠点の整備・充実・・・・・・・・ 2

### 第3章 みなとつるが山車会館の実態

- 3-1 将来人口の現状と課題・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3-2 建物施設の現状と課題・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3-3 将来負担コストの現状と課題・・・・・・・・・・ 3

### 第4章 みなとつるが山車会館の基本的な整備方針

- 4-1 みなとつるが山車会館の配置及び施設規模等の方針・・・・ 3
- 4-2 整備の基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### 第5章 長寿命化（整備等）にかかる継続的運営方針

- 5-1 情報基盤の整備と活用・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5-2 推進体制等の整備方針・・・・・・・・・・・・・ 5
- 5-3 フォローアップ方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

## 第1章 背景・目的

### 1-1 背景

みなとつるが山車会館は、敦賀まつりで行われる山車巡行をいつでも見学できる施設として、観光のみならず、学校教育にも活用され、「ふるさと敦賀」の誇りを学習する場となっている。また本施設は山車の保管施設としての機能も有しており、敦賀の伝統文化の保存、活用、情報発信施設として多様な活用がなされている施設である。

本市では、平成23年度から、第6次敦賀市総合計画基本構想に定める「世界をつなぐ港まち みんなで拓く交流拠点都市 敦賀」の実現に取り組んできた。しかし、原子力発電所の長期運転停止に伴う地域経済の停滞や人口減少をはじめとした発展の阻害因子が生じ、この実現が危ぶまれる事態となった。このことから、極めて厳しい現状を直視し、難局を乗り切り、これまで先人が築き上げてきた敦賀の魅力と活力を取り戻すことを目指し、同総合計画の後期基本計画を「敦賀市再興プラン」として位置づけた。その体系の一つである「心豊かな人を育むまちづくり」では、本市の歴史を体現する各種文化財等を保護し、次代へ確実に継承してだけでなく、これらの文化財を観光振興策等に活かすことで、本市の優れた伝統文化を広く発信していくこととしている。

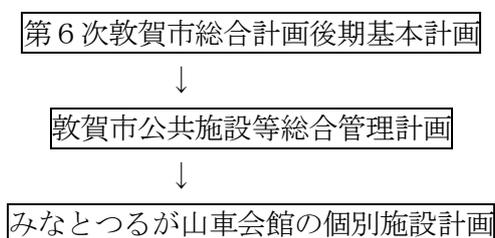
このような中、みなとつるが山車会館は、敦賀市公共施設等総合管理計画に基づき、既存建物の長寿命化を検討し、中長期的な維持管理等に係るコストの縮減及び予算の平準化を図りながら、文化施設としての機能を充実させることが必要である。

また、整備にあたっては、単に劣化した建物や設備を新築時の状態に戻すだけでなく、その機能や性能の水準に引き上げ、安心して安全な施設環境を確保することや、伝統文化を継承していくための活動拠点としての役割をあわせ持った施設として整備していくことが求められている。

### 1-2 目的

「みなとつるが山車会館の個別施設計画（以下、「本計画」という。）」は、上記の背景を踏まえて本施設の利活用面での質の改善も考慮しながら整備方針や優先順位を設定し、整備に要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定する。

### 1-3 計画の位置付け



### 1-4 計画期間

平成29年度から38年度までの10年間とする。ただし、社会情勢の変化等により見直し、敦賀市総合計画の策定期間には、内容を反映させるため改訂していくこととする。

## 1-5 対象施設

敦賀市が保有するみなとつるが山車会館を対象とする。

施設名	みなとつるが山車会館
所在地	敦賀市相生町7番6号
建築年次	平成9年2月
改修等年次(直近)	平成29年4月
建物構造	RC造陸屋根(一部)3階建
延床面積(m <sup>2</sup> )	1,537.39
敷地面積(m <sup>2</sup> )	1,793.20
備考	みなとつるが山車会館用地内に別館、土蔵を設置

## 第2章 みなとつるが山車会館としてのあり方

### 2-1 文化財の保護と活用の推進

地域の伝統文化を守り、継承するため、地域の保存団体等を支援するとともに、有形無形の歴史的文化遺産を確実に保護し、学校教育や観光等に活かすことによって、市民が誇りを持てる文化の振興を図る。

また、文化財的価値の高い別館建物(旧大和田銀行初代本店)の保存活用について検討を行う。

### 2-2 市民文化の活動拠点の整備・充実

市民や観光客が快適に利用できるよう文化施設の機能を維持・改善するとともに、生涯学習、学校教育との連携を図り、文化拠点として情報発信に努める。

## 第3章 みなとつるが山車会館の実態

### 3-1 将来人口の現状と課題

全国的に、少子化の進行により人口減少が加速している。本市でも同様に、今後もその傾向が続くことが推測されることから、地区の祭りなどの無形民俗文化財は、人口減少や生活習慣の変化により、昔ながらの方式で実施することが困難になっており、担い手不足が深刻な問題となっている。

このため、文化財の保管施設、伝統文化の次世代への継承、後継者の育成に関しての中核的な役割が求められている。

### 3-2 建物施設の現状と課題

みなとつるが山車会館はこれまで部分的な改修や修繕を行い、施設維持を行ってきた。しかし開館から21年が経過しており、建物や附属設備等の老朽化が進行しており、今後は大規模な修繕も必要となると考えられる。

### 3-3 将来負担コストの現状と課題

市有建物施設の将来負担コストは、「敦賀市公共施設等総合管理計画」によると、公共施設をすべて保有し続け、現在と同規模の面積及び耐用年数で建て替えた場合の平成29年度（2017年度）から平成68年度（2056年度）までの40年間の公共施設の将来更新費は、総額1,638億円、平均41.0億円/年と予測される。

また、平成29年度（2017年度）から平成48年度（2036年度）までの20年間は、建替え時期が集中し、平均49.5億円/年の将来更新費が必要となり、単年度の費用が大きく不足する恐れがある。

みなとつるが山車会館においては、今後予測される大規模な修繕について、施設の長寿命化を検討する上で、計画的な改修・修繕を行い財政負担の軽減を図っていくことが必要となる。

## 第4章 みなとつるが山車会館の基本的な整備方針

### 4-1 みなとつるが山車会館の配置及び施設規模の方針

みなとつるが山車会館は中心市街地に立地し、周辺は市立博物館や紙わらべ資料館などの官民の文化施設が立地する「博物館通り」と呼ばれるエリアにある。

博物館通りは、敦賀市再興プランにおいて中心市街地における来訪者の回遊性を生み出すための重点エリアのひとつに位置づけられており、同通りに立地するみなとつるが山車会館もその一翼を担う施設として、今後も現在地においてこれまで同様の施設規模を維持する必要がある。

#### 施設の位置図



図4-1 みなとつるが山車会館の位置図

## 4-2 整備の基本的な方針

みなとつるが山車会館は、敦賀まつりの山車巡行を体感できる山車保存活用施設として維持するために、施設の運営に影響が生じる前に優先度に基づく修繕や更新を実施する必要がある。

また整備にあたっては、次世代の市民のために必要性を検討したうえで実施する必要がある。

(施設の主な課題)

- 開館から21年が経過し、施設機能を維持するための大規模修繕が必要
- 建物や敷地等の安全確保
- 文化財保存活用施設としての機能の維持

施設の課題に対しては整備方針を設定し、計画的に施設の整備を進める。

### 今後の改修・修繕計画概要

平成30年度	外壁タイル改修	19,509千円
平成31年度	別館北側出入口庇修繕	1,372千円

### 4-2-1 施設の長寿命化の基本的な方針

敦賀市公共施設等総合管理計画の取組方針を踏まえ、これまでの対処療法型の修繕から予防保全型の修繕への移行を図る。

### 4-2-2 施設等の整備水準

一般的な施設の改修には、トイレ洋式化、屋上防水・外壁改修、空調設備の更新があり、本市の文化施設においても、これまで計画的な整備を進めてきた。今後は、これに加えて、時代とともに施設に要求される機能も見据えながら改修に努め、施設水準の向上を図る。

### 4-2-3 施設の維持管理

施設修繕の実施においては、施設状況の調査を通じて把握した内容に基づき、施設の維持管理を検討する。

また、電気工作物や消防用設備等の設備保守点検業務結果に基づき、劣化及び修繕箇所を把握し、適正な維持管理に努めていく。

## 第5章 長寿命化等（整備等）にかかる継続的運用方針

### 5-1 情報基盤の整備と活用

敦賀市施設マネジメント計画で作成している「施設カルテ」を活用して、施設の基本情報、建物の基本情報、コスト情報や利用情報を一元化していく。

### 5-2 推進体制等の整備方針

必要に応じて、敦賀市公共施設等総合管理計画を踏まえながら、全庁的な体制で対応を図っていく。

### 5-3 フォローアップ方針

本計画は、みなとつるが山車会館の施設整備の基本的な考え方を設定するものであり、第6次敦賀市総合計画後期基本計画において、整備年次や個別の事業費を精査していく。

また、施設の課題やその時代で求められる施設機能を検討し、敦賀市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、本計画の見直しを行うものとする。